
生き残りの姫君と仲間はずれの機械の人

紺とすん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

生き残りの姫君と仲間はずれの機械の人

【Nコード】

N0335Y

【作者名】

紺とすん

【あらすじ】

ささくれP氏のミュージックビデオ『ガラクタ姫とアポストロフ』を聴いて勝手に書いた話です。この話に目をとめた方で、MVをご覧になったことが無い方がいらしたら、このMV、おすすめです（MVには、一部暴力的表現があるという注がついています）。

「あーあ」

わたしは思った。

「いきのこっ」

「ちゃっ」

「た→」

足元のがれきを、こつん、と蹴飛ばした。

「いきのこっ、ちゃっ、た→」

もう一度、繰り返しても、答える人は、誰もいなかった。
今までに何回、同じことばを繰り返したか、
わたしはもう、おぼえていなかった。

昔々から、わたしは一人だった。

外の世界に、たくさんの人がいて、たくさんモノがあっても、
わたしの世界に住んでいたのは、わたしを見ていたのは
わたしだけだった。

だから、ある日とつぜん彼らがやってきて、
すべてを壊して、なぎ倒して、奪い去っても、
それで外の世界に誰もいなくなっても、
わたしには関係なかった。

すべてが壊されて、なぎ倒されて、奪い去られた後の、
冷たくて、臭い、ガラクタとガラクタとガラクタが、
わたしの庭になっただけ。

ガラクタの世界で、

わたしが身につけているアクセサリーは、くろい、足枷の残骸。それだけ。わたしの持つてるものは、それだけ。足枷の残骸はこわい、こわい記憶の残骸。

ところがある日、わたしは、お姫さまになった。

ガラクタの世界に、不意にあらわれた、唯一の心ある者、そのキカイのヒトが、わたしに王冠をくれたから。

キミは誰なの、どこから来たの、わたしを壊すの？ はじめて会ったはずなのに、なんでこんなに、懐かしい気持ちがするのだろう。

今日からキミは、たった一人のわたしのともだち。

今日からわたしは、たった一人のキミのともだち。

キミの行くところに、わたしも、行くよ。

ここは、キミとわたしの、二人がいる世界。

冷たい世界は色づいて、わたしは、ひとりぼっちじゃなくなった。

そのキカイのヒトは、冷たくて、歯車のまわる音がする。

ギーコ、ギーコ、ギーコ

わたしは、その音を、子守唄にして、眠るよ。

やさしいやさしい、その音。

やさしいやさしい、そのヒト。

わたしは、今日も、キミにもたれて、眠るよ。

そのキカイのヒトは、冷たくて、無情な金属のおいがする。

キシッ、キシッ、キシッ

わたしのまえにある、すべての障害物を、その力強い腕でとりのぞく。

強くてたくましい、その姿。

わたしを守ってくれる、そのヒト。

わたしは、今日も、キミの冷たい腕を抱いて、眠るよ。

それなのに、彼らが、

わたしの大好きなキミを仲間はずれにした彼らが、

またやってきてしまった。

こんど彼らが壊して、なぎ倒して、奪い去ろうとしているのは、キミ。

させない、そんなことは、わたしがさせない。

わたしがキミを守ってあげる。

そう、わたしは思い出す。

昔々、わたしは一人じゃなかった。

そう、わたしはあのときも、お姫さまだった。

わたしのすべて、わたしの世界だった人、大好きなお兄さん。

手ずからつくってくれたカンパニユラの冠を戴いた

わたしは幸福な姫君だった。

わたしとおなじ、あたたかい腕。

わたしとおなじ、あたたかい体。

そのあたたかい体は赤い血を流して、わたしのために、いなくな
った。

わたしを守るために、いなくなった。

わたしは呼んでる呼んでる呼んでる呼んでるキミを
キミは探してる探してる探してる探してるわたしを
呼んでるのは、探してるのは、だれ？

こんどはわたしが守るよ、キミを。
やさしいやさしいキミを。つよいつよいキミを。
キミにあげるよ、ガラクタの冠を。
だからまたいつの日か、一緒に眠ろうね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0335y/>

生き残りの姫君と仲間はずれの機械の人

2011年11月13日21時04分発行